

ひがしっ子

No.7 平成27年7月3日発行 文責 学校長 岡林章子

人権参観日ありがとうございました

6月26日(金)の人権参観日には、平日にもかかわらず多くの保護者や地域の皆様がご来校くださり、ありがとうございました。



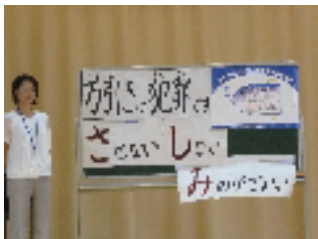
各学年の発達段階を踏まえながら「仲間づくり」「平和教育」「人権に関わる様々な問題」などをテーマに、全学級で人権学習の授業を公開しました。



授業後には、体育館でPTA人権講演会を行いました。4～6年児童、保護者や地域の皆様も参加くださり、高知新聞社の塚地和久さんを講師に「なかまと言葉」と題してお話をしていただき、保護者や地域の方からも、「心に響きました」「大変よかった」との感想をたくさんいただきました。

全校児童で、万引き防止集会

7月3日(金)、少年補導センターの職員を講師に、全校児童で「万引き防止集会」を開催しました。寸劇を交えながら、「万引きは犯罪です。窃盗罪という罪になります。」ということも、子どもたちに分かりやすく説明してくださいました。あわせて、物の貸し借りも絶対にしてはいけないということもお話してくださいました。



校内授業研究会について

6月17日(水)は2年1組で、7月1日(水)は5年2組で、全教員参加の校内授業研究会(国語科)を実施しました。

2年生の単元名は「『まほうのかばんランドセル』カードを作り、1年生にしょうかいしよう!」で、



今回のねらいは「大事な言葉を抜き出して、箇条書きにする。」です。最後は、実際に1年生にランドセルのよさをしっかり伝えることができました。



5年生の単元名は「これであなたも新聞記者!」、今回のねらいは「見出しから書き手の意図をつかむ。」です。新聞の学習は4年生の国語の教科書から出てきますが、

新聞を読む力は大人になっても必要な力です。この学習もその基礎となるものです。ご家庭でもぜひ話題にしていきたいと思えます。

国語アンケート実施

先月、全校で取ったアンケート結果です。

今後の指導に活かしていきます。【肯定群】

- 1 国語の学習は楽しいですか。【85%】
- 2 自分の考えや思ったことを書くことができますか。【84%】
- 3 自分の考えや思ったことを人に伝えたり発表したりすることができますか。【74%】
- 4 先生や友だちの話を言いたいことを考えながら聞くことができますか。【91%】
- 5 あなたの先生は、みなさんの様子を見て声をかけてくれますか。【97%】
- 6 あなたの先生は、考える時間や活動する時間をたくさんとってくれますか。【96%】
- 7 あなたの先生は、相談したり話し合ったりできるようにしてくれていますか。【95%】

給食費の集金について

7月分の給食費の集金は下のとおりです。引き落としができるよう、ご準備をお願いいたします。(期日ぎりぎりになり申しわけありません。)

7月給食費振替日 7月10日(金)

うしお 12回 3,000円

1~6年 13回 3,250円

※手数料：一口座につき54円です。

新しい遊具の紹介



昨年度末、国土交通省のご提案で、第二運動場の隅に、新しくドーナツ形の遊具ができました。材料は、国道56号線沿いの電線類地中化工事に伴って伐採された街路樹ということで、木の温かみを感じられるすてきな遊具です。高さや大きさも子どもの体に合わせて特注で作っていただきました。子どもたちは、ベンチ代わりに座ったり、じゃんけんゲームをしたりと思思いに楽しんでいます。

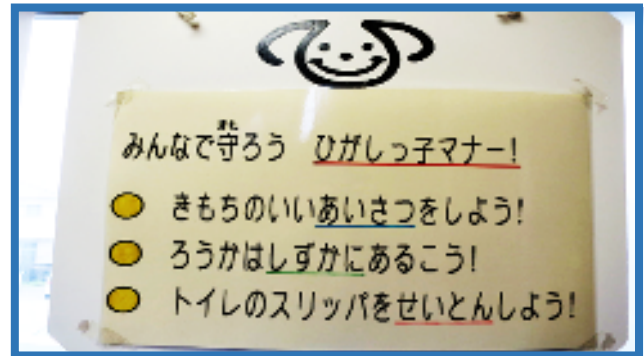
集会から見える子どもの成長

本校では、言語能力の育成と主体性の形成を柱に取り組みを進めていますが、児童集会においても、その成果が見られるようになってきました。

全校児童410人が集まる集会でも、司会者も発表者もマイクは使いません。十分な声で表現ができ、他の子どもたちも静かにしっかりと聴くことができます。そして、最近では、発表に対する感想などを言える子どもも増えてきました。今後もさらに取り組みを進めていきます。



“ひがしっ子マナー”



本校では、集団生活での配慮の心を育てるために、生徒指導面の3つの重点項目を「ひがしっ子マナー」として指導しています。

まずは、自分自身が気を付けること、次に、仲間同士が気を付け合うこと、と段階を踏みながら、次第に自分たちから進んで主体的にできるようになることをめざしています。

生活委員会児童作成の
掲示物

2先生児童が作成した
ポスター



子どもの生活力調査より

国立青少年教育振興機構の調査によると、下ののように、「親と一緒に体験を通じて教えたりすれば、身に付く割合が増えるが、小言や叱責だけだと効果がみられない」という結果が出たそうです。これは、家庭だけではありません。私たち教師も含め、周りの大人が、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、成長を見守る必要があるということだと思えます。

効果あり

親が元本を示す。一緒に体験を
通して教える。
○「やってみせて、させてみる。」
子どもを後押しする姿勢が重要
○「あいさつや食生活の指導」
「子どもの自主性尊重」「共通の
体験を増やす」をよくする親ほ
ど、子どももできる傾向がある。

効果なし

小言や叱責だけではいけない。
○「がんばれ」など具体性がない
叱責や親の意見の押し付けは
効果なし。
○「毎朝朝食を食べる」「帰宅後
手を洗う」などの生活習慣は、
小学校でできていないと高校で
もやらない子どもが大半。